

論語教室だより

『寺子屋・こども論語塾』世話人会

第 99 号

2019 (令和元) 年7月20日 (土)

こころ か こうどう か
心が変われば行動が変わる

こうどう か しゅうかん か
行動が変われば習慣が変わる

しゅうかん か じんかく か
習慣が変われば人格が変わる

じんかく か うんめい か
人格が変われば運命が変わる

てらこや ろんごじゆく しゆさい につた おきむ
寺子屋・こども論語塾 主宰 新田 修

この言葉は、石川県星稜高等学校元野球部監督の山下 智茂氏が、巨人やヤンキースなどで大活躍した国民的スターで後に国民栄誉賞を受賞した松井 秀喜氏に、渡米する前に贈った言葉です。

松井 秀喜氏はこの言葉に「今も自分の心の中で輝いている宝石のような言葉です」と語っています。

今月は松井 秀喜氏と彼を育てた山下 智茂氏との師弟愛についてお話したいと思います。

山下氏と私は、同じ大学で共に野球に青春を賭けた心友ということもあって、今も交流が続いているからなのです。

松井氏は両親の影響もあり、熱心なクリスチャンで普段から聖書はもとより、哲学書を愛読していたそうです。読書家であることは良く知られていますが、その影響もあって感性豊かな人間性が生まれ、後のあの落ち着いた言動を生み出したのでしょう。

巨人軍に入団後の10年間、恩師・山下氏とは一週間に一度、ファックスの交換を続けていたそうです。内容は多岐にわたっていますが、スランプに陥ったときの悩み事には、その解決法のアドバイスをし、時には、それぞれが肝銘を受けた本の内容について意見を交換したこともあったそうです。また、松井氏は体に似合わず繊細な神経の持ち主で、恩師の誕生日にはネクタイをプレゼントし、ゲーテの詩集を贈ったりもしたそうです。そんな師弟愛があったからこそ、松井氏はスーパー・スター・プレーヤーになっても、謙虚さを失わず、母校を愛し恩師との交流の大切さを深く感じていたのだと思います。

そういう彼を厳しくも温かく見つめ続けた山下氏もまた偉大であったといえるでしょう。「監督としての目標は、野球を通しての人間形成を目指すこと。一教師としては、躰は家庭のみならず、学校でも大切であり、感性豊かな生徒を如何に育てるかが最大のポイントなのだ」これが我が心友・山下 智茂氏の口癖であったことが今、懐かしく思い出されるのです。

最後に寺子屋・こども論語塾に集う皆さんに私が伝えたいこと、それは「心の持ち方が変われば、人生をも変えることができる」ということです。人は幾つになっても、理想のゴールを目指して、それぞれの人生を切り拓いていきましょう。

【お知らせ】

来月(8月17日)の寺子屋・こども論語塾は、「論語かるた大会」を実施します。論語の授業は行わず、坐禅終了後、大人も子供も混じって2グループに分かれて行います。成績上位者には賞品を、参加者及び見学者にも漏れなく参加賞を渡します。なお、かるたの読み手は大人の塾生・道端敬子先生並びに堀田美智子先生にやって戴くことになりましたのでお知らせします。